校長室から（美祢高だより）

美祢市秋芳町大字秋吉5236番地
TEL 0837-62-0144　FAX 0837-62-1303

平成２４年３月１９日
第　７　号

大事なのは、忘れないこと、いつも心の片隅で思っていること

本年度の終業式の日を迎えました。

１年間を振り返って、自分の成長の跡を実感することができますか。私たちの目から見ると、一人ひとりが本当に一回り大きくなったように感じます。今日はそれを自分自身で実感してください。そして、次の学年に向けて、新たな目標を立ててほしいと思います。

先日、カルスト講座Ⅲが開催され、二つの貴重なお話を聴くことができました。今回は、「個人としての自分」ではなく、「社会の中の自分」に焦点を当てた講演でした。

植山さんの講演を熱心に聴く

まず、本校同窓会副会長の植山正雄さんが「日本の農業の現状と課題」というテーマで、日本の農業が直面する課題を具体的なデータをもとにわかりやすく話してくださいました。生徒の感想を見ると、「農業についてテレビなどで多く取り上げられているのを見たことがあるけど、今まではあまり深く考えたことがなかった。もっと真剣に考えなければいけないと思った。」など、農業を自分に関わる大事な問題としてとらえた感想が多くありました。私は、現在の食生活に必要な耕地面積の広さを示したグラフに驚きました。日本の耕地面積の約３倍の広さが必要とのこと。私たちは食生活そのものの見直さなければならないのかもしれません。また、農業用地が環境の維持や災害の防止に役立っていることを再発見させられました。植山さんは刻々と動いていく農業政策をしっかり把握しておられ、それを少しでも皆さんに伝えることができたらうれしいとおっしゃっていました。

次の講演は東日本大震災の被災地ボランティア活動に取り組まれた吉村方伸先生のお話でした。被災者とボランティアをつなぐコーディネーターとして、約１か月活動されたときの様子を写真を紹介しながら臨場感あふれる言葉で話してくださいました。復興がなかなか進まない中で、被災された方々が、たくさんの人に支えられて自分たちの力で立ち上がっていく過程は、人間の底力を私たちに見せてくれます。「自分に何かできないか」と皆さん一人ひとりがきっと思ってくれたと信じます。

３月１８日のブラスフェスタの後、ＪＲＣ部と生徒会が被災地に送る募金の呼びかけを行いました。生徒会長の鮎川君が、「カルスト講座で被災地の現状を聞いて、復興のためには息の長い支援が必要だと思った。」と語っていました。先生のボランティア活動の話が生徒の皆さんの心に響き、それが次の行動へとつながっていることがとてもすばらしいと感じました。私たちには直接できることは少ないかもしれませんが、忘れないこと、いつも心の片隅でずっと思っていること、それが大事なのだと思います。そうすれば、何か自分にできることに出会った時、すぐに動き出すことができるはずです。

ブラスフェスタの合同演奏

全員で演奏する迫力はすばらしいものでした。
吹奏楽をバックに参加者全員で歌った「秋吉台讃歌」は、連携型中高一貫教育を行っている中学校・高等学校の一体感を盛り上げました。

最近の学校の様子から

■ 「スポーツマッチ」

１・２年生で３チームに分かれてスポーツマッチを行いました。男女混合のバレーボール、男子の柔道、女子のバドミントンを実施しました。生徒同士の仲がよい本校ですから、チームワークがよく、楽しいスポーツマッチになりました。

特に男子の柔道は、スポーツマッチで取り上げられることはほとんどありませんが、今回は生徒の要望で実現しました。期末考査後、けがの防止の意味もあって、ほとんど毎日練習を行いました。その努力が実り、どの試合も見応えがありました。全員がとても頼もしく感じました。

■「美祢高プロジェクト集会」

本校では４年前から「自分たちで学校生活をよくしていこう」を合い言葉に、「美祢高プロジェクト」を実践しています。この取組の１年間の反省を発表し、来年度の目標を立てることがこの集会の目的です。

「１．気持ちのよい挨拶をする。」「２．時間を守る」いずれもほぼ守れているという結果が出ました。しかし、もっといい挨拶ができるのではないか、全員が守るようにすべきではないか、という率直な意見も出され、じっかり反省されていると感じました。今年は特に「時間厳守デー」を設けたことがとてもよかったと思います。また、生徒会執行部が苦労して毎回まとめてくれた「美祢高プロジェクト通信」はとてもよくできていました。数値が具体的に示されると同時に、それに対する分析がきちんと書かれていたからです。

来年度の目標は、「当たり前のことを当たり前に行う」になりました。いい目標ですね。何が「当たり前」なのかをしっかり議論して、よりよい学校を自分たちで創っていってください。

■「お仕事スタジアム」への参加

福岡の国際会議場で行われた「お仕事スタジアム」に参加しました。１年生は初めてですが、２年生は２回目ということで、とても意欲的に会場を回っていたと引率の先生方から聞きました。

お仕事体験や職業相談の機会は校外学習やカルスト講座にもありますが、「お仕事スタジアム」の特徴は、その数が多いことと、多数の学校が参加しているため、コミュニケーション能力の向上にも役立つということです。

■「応急手当講習会」

心停止などの緊急事態に直面したとき、正しく心臓マッサージを開始したり、ＡＥＤを使用したりできるように、地元の消防署の方を招いて講習会を実施しました。今年から変わった手順などを習いながら、生徒も教員も熱心に受講しました。